

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和6年11月6日

計画の名称	安心して暮らすための山口県流域下水道における老朽化対策の推進（防災・安全）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	交付対象	山口県	
計画の目標	流域下水道浄化センターにおいて、設備の老朽化による機能停止を未然に防ぎ、快適な生活環境を確保する。			
計画の成果目標（定量的指標）	①汚水の流出、トイレの使用不可を未然に防ぎ、利用者が安心して暮らすため、周南流域下水道浄化センターの現有処理能力34,000m ³ /日を維持する。 ②汚水の流出、トイレの使用不可を未然に防ぎ、利用者が安心して暮らすため、田布施川流域下水道浄化センターの現有処理能力8,400m ³ /日を維持する。 ③高潮等による浸水に対し、下水道施設の基本機能を確保するため、揚水設備・消毒設備等の耐水化を行う。			
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)	
①周南流域下水道浄化センターの長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づく設備の改築達成率 改築済の設備数/計画期間内に改築すべき設備数	0.00%	-	100.00%	
②田布施川流域下水道浄化センターのストックマネジメント計画に基づく設備の改築達成率 改築済の設備数/計画期間内に改築すべき設備数	0.00%	-	100.00%	
③田布施川流域下水道浄化センターの耐水化実施率 耐水化済の施設数/耐水化すべき施設数	0.00%	-	33.00%	

事後評価

実施体制、実施時期 事後評価												
実施体制						実施時期						
土木建築部評価システム検討委員会にて、事後評価を実施						事業完了後 公表の方法 山口県ホームページに掲載						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,168百万円	A	2,168百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
A07-001	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場改築事業（周南浄化センター）	沈砂池・ポンプ・水処理・汚泥処理設備改築、SM計画策定、改築詳細設計	光市						919	-	策定済	①
A07-002	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場改築事業（田布施川浄化センター）	沈砂池・ポンプ・水処理・汚泥処理設備改築、改築詳細設計	田布施町						1,230	-	策定済	②
A07-003	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場耐水化事業（田布施川浄化センター）	耐水化基本・詳細設計、管理棟・ポンプ送風機棟・消毒施設等耐水化	田布施町						18	-	策定済	③
									合計					2,168			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	R2	R3	R4				
									合計								
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	R2	R3	R4				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づいて設備の改築等を行い、老朽化による機能停止を未然に防いだ。 ・耐水化計画の策定及び詳細設計を行い、想定最大規模の高潮に対して、計画的な耐水化工事の執行が可能となった。 									
II 定量的指標の達成状況	定量的指標		最終目標値		最終実績値		目標値と実績値に差が出た要因			
	指標①(周南流域下水道浄化センター改築整備率)		100	%	100	%	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。			
	指標②(田布施川流域下水道浄化センター改築整備率)		100	%	100	%	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。			
	指標③(田布施川流域下水道浄化センター耐水化率)		33	%	0	%	詳細設計中に高潮浸水想定区域図が新たに公表されたことにより事業実施計画の見直しが生じたため。			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)										

3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づいて計画的な改築等を引き続き行い、施設の老朽化による機能停止を未然に防ぎ、快適な生活環境を確保する。 ・高潮等による浸水に対し、下水道施設の基本機能を確保するため、引き続き揚水設備・消毒設備等の耐水化を図る。 										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の名称	安心して暮らすための山口県流域下水道における老朽化対策の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	山口県



周南流域下水道浄化センター(A-1)

田布施川流域下水道浄化センター(A-2)(A-3)

